

みんな夏祭り

三馬校下町会連合会

目的

近年デジタル化が進み昔ながらの事業が簡素化され縮小される中、子供達に昔ながらの夏祭りを体験させ、伝えていく事が我々の使命だと思います。また、この事業を通して高齢者、若者、子供とが一同に会し、交流出来るとても良い機会だと考えます。

概要

1. 会場入り口にて子供達にケミカルライトを配布
2. やぐらを作り提灯をつけて盆踊りを実施。三馬小学校伝統「三馬っ子おんど」や三馬泉じょんがらなど地域に根付いた踊りを踊る
3. 校下の誰もが参加出来る抽選会を最後に実施し、夏の楽しい思い出を作った

実施スケジュール

時 期	内 容	場 所	備 考
5月中旬	チラシ、ポスター作り 模擬店、必要品の手配	公民館集会室	出来次第全戸配布
6月中旬	出演者、模擬店の調整 必要な道具、商品等手配	公民館集会室	町会役員 団体役員
7月22日 (金)	会場作り、看板取付 一部リハーサル	三馬小学校 グラウンド	町会役員 有志
7月23日 (土)	夏まつり本番	三馬小学校 グラウンド	町会役員 団体役員、有志
7月24日 (日)	後片付け、掃除	三馬小学校 グラウンド	町会役員 団体長

事業の運営体制

役 割	人 数	備 考
事業企画	20人	町会役員、各種団体役員
広報、ポスター作り含む	15人	町会役員、公民館・婦人会役員
会場作り	30人	町会役員、公民館役員
出演者、模擬店打合せ調整	15人	町会役員、子供会・婦人会役員
当日運営	50人	町会役員、各種団体役員、有志

事業実施にあたり工夫した点など

コロナ禍で飲食が制限されていたので、子供達が楽しみにしていたアイスの配布は中止し、ケミカルライトの配布に変更した。また、密にならないようカラーコーンを配置し、また会話の自粛を場内放送で流し、感染予防に協力してもらった。

事業の成果

司会、進行をママ達層にしてもらったり、昔からの踊りや獅子舞などを復活させたりと2年間のブランクを逆に活用してまた新しい形の夏祭りになったと思う。

課題や今後の展望など

高齢者、若い世帯と多くの年代層が住んでいる地域であり、新しいものを取り入れ、昔から引き継がれているものも大切にしながら、続けていけたらいいと思います。

少子化が進みまた共働き世帯が多い中、若い世代の校下事業への参加が難しくどうしても時間に余裕がある年代層が中心の活動が多くなってしまいます。幅広い年代層が活躍し、参加出来る環境を考えたいです。

